

2007 年度

科目名 <p style="text-align: center;">日本語学講読Ⅱ</p>	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 <p style="text-align: center;">藤田 保幸</p>
授業テーマ 語彙論と語彙調査		
授業の概要と目標 国語語彙論の基礎知識を身につけるとともに、実際の語彙の量的調査を実践することを通して、語彙調査の方法を学ぶ。コンパクトにまとめられたテキストを手掛かりとして読んでいく形で、語彙論のさまざまな分野を学びながら、併せて明治時代の言語テキストを対象として語彙量の調査（品詞比率・語種比率などについて）を実際に試みて、まだ考察されていない問題についても一緒に検討を進めてみたい。なお、必要に応じて、資料プリントなどを配布する。		
評価方法 毎回の授業での取り組みと出席を基礎点とし、指定された事項についての調査報告の提出と小テストによって評価する。受講態度のよくない者に対しては、単位を与えない。		
テキスト 『日本語学ノート』	著者 藤田保幸	出版社 私家版
参考書 『国語語彙論』	著者 田中章夫	出版社 明治書院
授業スケジュール・内容 1. 導入——語彙の概念と語彙量 2～3. 語彙調査の方法——さまざまな語彙調査 4. 語彙量の調査（1）——調査事項の説明 5. 語種の概念 6. 語種各論①——和語と漢語；調査（1）の結果提出 7. 語種各論②——外来語、語種と拍数 8. 調査（1）の総括；話し言葉と書き言葉の語彙 9. 語構成 10. 語彙量の調査（2）——調査事項の説明 11. 意味論の基礎 12. 同義語・類義語・対義語；調査（2）の結果提出 13. 位相の問題 14. 調査（2）の総括；語彙の変遷① 15. 語彙の変遷②；小テスト		